

平成27年度 第10回豊岡市教育委員会の会議（定例会）会議録

○ 開会及び閉会の日時及び場所

平成28年1月25日（月）

場 所 豊岡市役所本庁舎7階 第3委員会室

所在地 豊岡市中央町2番4号

開会時間 午後1時30分

閉会時間 午後2時25分

○ 出席委員及び欠席委員の氏名

出席委員	委員（委員長）	深田 勇
	委員	宮嶋 珠美
	委員	中川 茂
	委員（教育長）	石高 雅信

欠席委員	委員	友田 千織
------	----	-------

○ 委員及び傍聴人を除くほか議場に出席した者の氏名

事務局	教育次長	丸谷 統一郎
	教育総務課長	和藤 達也
	こども教育課長	田淵 重遠
	こども教育課参事	鳥居 保
	こども育成課長	福富 省吾
	教育総務課長補佐	堂垣 真弓
	教育総務課係長	向原 芳江

事務局以外 地域コミュニティ振興部

生涯学習課長	井上 貢
--------	------

○ 日程

第1 会議録署名委員の指名

宮嶋 珠美 委員

第2 前回の会議録の承認

平成27年12月21日（月）開催 第9回定例会

第3 教育長の報告

第4 地域コミュニティ振興部の報告

1 生涯学習課

- (1) 平成27年度成人式の実施報告について

第5 議事

- 議案第42号 寄附物件の申出について（3件）

第6 教育委員会事務局の報告

1 教育総務課

- (1) 学校整備審議会からの答申書受領について
- (2) 豊岡市歴史文化基本構想策定委員会委員の委嘱について

2 こども教育課

- (1) 旧豊岡市こども支援センターの跡地利用について
- (2) 豊岡市こども支援センター12月の活動状況報告について

3 こども育成課

- (1) （仮称）小坂・小野認定こども園整備について

第7 教育委員会活動予定

- 1 次回教育委員会会議の日程について
- 2 今後の活動・行事予定

○ 会議の概要

開会 午後1時30分

（深田委員長）

ただいまから平成27年度第10回定例教育委員会会議を開会いたします。

本日は会議規則の規定によりまして、友田委員から欠席届が出ております。本日の教育委員会会議につきましては、委員4名が出席しておりますので、会議の定足数である過半数を十分満たしております。よって会議は成立しているということをまず報告をさせていただきます。

それでは会議の次第に従いまして進めさせていただきます。

【日程 第1 会議録署名委員の指名】

（深田委員長）

第1、会議録署名委員の指名です。本来であれば友田委員にお願いをするところですが、先ほど申し述べましたとおりの状況でありますので、その次の宮嶋委員に会議録署名委員をお願いしたいと思います。よろしくお願いたします。

【日程 第2 前回の会議録の承認】

（深田委員長）

第2、前回の会議録の承認です。平成27年12月21日に開会いたしました平成27年度第9回定例会の会議録につきましては、事前に委員の方々にも配付をしております。ここで委員の方々の承認を求めたいと思います。確認等していただいていると思いますが、誤りまたは修正などなかったでしょうか。

(委員)

なし。

(深田委員長)

なしという声が出ておりますので、会議録につきましては承認するという事に決定をいたします。

[日程 第3 教育長の報告]

(深田委員長)

続きまして第3、教育長の報告に移ります。それでは教育長報告をお願いいたします。

《教育長の報告概要》

12月21日から今回の定例教育委員会会議開催までの期間における教育活動の概要

- * 1月は人事に関する様々な用務が増えてきている。1月6日には、教職員管外交流面接を行った。これは、但馬外に勤務する教職員の中で、この豊岡への転入を希望される方についての面接で、幸い、他の市町に比べて豊岡への転入希望者が非常に多い。しかし、すべてを採用することは大変難しい状況であり、面接をした結果、今のところは、小学校数名、中学校数名ということで、豊岡で勤務していただきたいと思い、今後、県の教育委員会とやり取りするなかでその決定をしていきたいと考えている。
- * 1月8日から人事ヒアリングが始まっている。これは各学校の状況、各先生方の希望もすでに文書として出されているので、そのことを校長からお聞きしている。すべてを叶えることは非常に難しいと思うが、本年度の一つの特長として、若い先生方の中で、いわゆる小規模校に数年勤務したのだが、やはり自分の力をもっと高めるために、複数学級がある学校に異動して勉強したい、といった先生が増えてきているように思う。そういった先生方の希望はできるだけ叶えていくなかで人事交流を行っていきたいと考えている。
- * 1月13日に、第3回いじめ防止対策委員会が開催された。いじめに特化したアンケートをやるということが前回の防止対策委員会で決定されたが、内容について提案していくなかで、アンケートは月1回実施し、A4サイズ1枚程度で、項目も減らして取り組んでいこうということを決めた。
- * 1月21日に中学校の公開授業を参観した。やはり、中学校の授業は課題だということを改めて認識した。教師と子どもとの1対1の学びの場はあるが、子ども同士が学ぶという場が非常に少ない。教師と発表する子どもが1対1でやりとりしている。それを他の子ども、学級全体に広げていって、他の子どももその中に参加していき、学習を深めていくという取組がまだまだ十分ではない。まさに中学校の先生方の授業のまずさと下手さと力量のなさといったものを感じたし、今後このことについては、早急に高めていくための取組をしていく必要があるのではないかと思う。

(深田委員長)

ありがとうございました。教育長から報告がありました。今の報告の中で、またこの報告事項の中で、何か質問等ありますでしょうか。

《教育委員の質問・意見概要及び教育長の回答・説明概要》

(宮嶋委員)

1月9日の中筋地区公民館での「豊岡子どもサミット」というのはどのようなことか。

(石高教育長)

中筋地区が、鹿児島県の沖永良部島との交流の中で、向こうから小学生が来て向こうの取組をここで紹介する。そして中筋地区の取組も紹介するという形で行われたサミットであり、子どもたちが自分たちの地域をどう考えるかということについて、お互い発表したり、交流したりする内容であった。

(中川委員)

1月18日の週のハッピースクールプロジェクトについて、前回と比べてどのような感じだったのか。教育長の目から見て、前回と比べて大きく変わったのかどうか、そのあたりを聞きたい。

(石高教育長)

私は前は行けなかったが、今回、前回の反省を聞くなかで但東中校区に要望したのは、まず小学校の先生方が中学校の先生と交わる機会を作ってほしいということ。職員室でしっかりと机を配置してそこに座って、中学校の先生方と交流する時間を増やしてほしいということが一番最初に要望した。もう1つは、中学校の先生もせつかくの機会だから、6年生は来年中学に上がってくるわけなので、全員の先生がしっかりと子どもを見てほしい。それが今回のこのハッピースクールプロジェクトの大きな狙いでもあるということをお願いするなかで、今回取り組んでいた。1週間終わってどうだったかという結果報告は聞いていないが、必ず職員朝礼の時間には、小学校の先生が最低1名はその職員室で参加するという事も決められていたようで、そういったこちらから要望を出した面については、少しは取り組んでいただいているとは思っている。

そのなかで初日、竹野中学校区の小学校の3人の校長が、ハッピースクールプロジェクトを見学して、来年度、竹野中学校区では、具体的に小中一貫教育の計画を立てるにあたってどういったことをやっていこうかということ、この具体的な事例を見ながら協議したいといった思いのもとに来ておられて、一生懸命子どもたちの様子を見ると同時に、子どもたちにも質問して、本音で答えてほしいとか、あるいはそこに参加しておられる小学校の先生方にも、本当のところはどうなのかを聞かしてほしいんだといったお互いのやりとりのなかで学んで帰られたようである。

ただ残念なのは、本当にその意識が竹野中学校区だけでいいのか。ただこれも、この日にするという事は、他の中学校区は知っていなかったと思う。たまたま竹野中学校区の小学校の先生方は、但東の先生方と情報交換するなかで、この日にやるんだということを知ったからそこに来たんだということだったので、市内全域には、この日に但東中学校区でこういった取組をしますよということは周知できていなかったのではないかと思います。これは、こども教育課を含めた事務局のミスかなということは考えている。

(宮嶋委員)

私は20日に行った。感想だが、ちょうど竹野中学校の校長先生と偶然玄関で一緒になって、一緒に見学し、その後、但東中学校の校長先生と3人で話した。先生が言われたのは、1学期、2

学期、3学期ときて、少しずつ上手にいくようになっていくということであった。3校の小学校の先生方が、それぞれ1回目より2回目、2回目より3回目とよく協議をされて、より話し合いをなされるようになったという感想を持っておられた。それはとてもいいことだと思った。中学校の先生方との交流の件は聞いていないが、竹野中学校の校長先生もとても意気込んでおられたし、今後は、竹野中学校区でこのような取組を考えていきたいという感じであった。私は前回行ってないが、先生の感想を聞くと、少しずつではあるけれども、この取組は成果が上がってきていると思った。

(深田委員長)

私も21日に行った。前回と比べて、子どもたちは、大変よく馴染んでいたと思う。

私が参観した授業は、中学校の先生が理科の授業をするというものだったので、専門性もあるのかも知れないが、子どもたちはすごく興味を持っていた。全部で6つの班に分けて実験をする前に説明をされて、実験をして、その結果についての話もしていたが、気圧の差によって卵がビーカーの中にボンと落ちるのを目の前で見て、すごく感激をしていた。自分たちで最初いろいろと具体的にやっても落ちなかったのが、何が原因かということ先生が説明された後、もう1回やり直そうと、水に漬けて密着度を増してからやって、気圧の差が大きいほどボンと落ちるということをやっていたが、中学校の先生はやはり専門的だからかもしれないが、論理的によく説明していて、子どもたちもよく納得していたと思った。

私は直接見ていないが、校長先生たちが話しておられたのは、その前の英語の授業で、桃太郎を英語劇という形でやることを提案しながら、最初は読んでの語りかけみたいになっていたが、これを各小学校に持って帰って、卒業生のお別れの会で各小学校の地域にあったような桃太郎に脚色しながら簡単な英語劇のようなものを行ったかどうかという話になっており、そういう意味では、ある程度方向性というものもみんなでも共通認識して、共通性を示してやるということの大切さもわかったのではないかとおっしゃっていた。確実に以前から比べると、生徒の表情も良くなっているし、方向性もしっかりとお互いに話し合いをしながら実施されているということを感じたので、1つのひな形とは言わないまでも、1つの先行した事例を参考にして、各地域でやっていったらいいのだということを実感した。

そういう意味では、1回目と2回目と違いが明確に見えて良い1時間だったと思っている。

(石高教育長)

今回、ハッピースクールプロジェクトを実施したが、一番これの課題は何かといたら、先生方が、この取組をすることによって負担感を非常に持つと、この取組は前に行かなくなるのではないかとということである。先だって竹野地区の小学校の校長と話していたが、仮にこれを1日や2日だけのハッピースクールプロジェクトで終わるとするならば、1日や2日用の何か特別な授業をしなければならぬと考えてしまうのではないかと。ということは、その特別な授業をどう仕組むのかということを考えなければならない。まさにそのことが負担感に繋がるのではないかと私は言ったことがある。そうではなく、1週間べったり実施することによって、普段の授業をこの1週間に持ってきたらいいのだと。ただそれに行きつくまでに、教材の進度を合わせることはあると思うが、それはそれほど難しい問題ではないのではないかと。普段の授業をここに持ってくる、例えば算数は、どこの学校の先生が責任をもってやろう、国語はどこの学校の先生が責任を持ってやろうと、そういった形でやれば、その先生方にとっては、当然自分の学校にいても教材研究するわけだから、特別なことをそこでする必要はない。そういった意味で言えば、

それほど大きく負担感が増すということにはならないのではないかと思います。逆に期間を短くすることによって、いわゆる教科書を使った授業はできないし、なにか他の授業を考えなければならないというイベント的な取組に終われば、それを考える分の負担感が増してくるのではないかと。

竹野地区は竹野小学校に1年生から6年生まで集めて1日だけやる。その1日を、授業をやるうということによって実施しているみたいだが、逆に1日の1時間だけ合わそうと思ったら余程大変ではないか。どうしてもイベント的になりやすくなるのではないかと考えたら、やはりある程度、1週間ぐらいこういった形でやった方が、先生方の負担感という面では、それほど感じなくてすむのかなというような思いを持った。

(深田委員長)

ありがとうございます。だいたい皆さんこのような感想をお持ちになったということで、教育長報告、以上で終了させていただきます。

[日程 第4 地域コミュニティ振興部の報告]

(深田委員長)

第4、地域コミュニティ振興部の報告に移らせていただきます。生涯学習課からの報告がありますので、生涯学習課長、説明をお願いします。

1 生涯学習課

《生涯学習課長の説明概要》

(1) 平成27年度成人式の実施報告について

1月10日、成人の日の前日に実施した豊岡市の平成27年度成人式について報告させていただく。対象者数は900名であったが、男女合わせて761名出席していただいた。今回特に、豊岡市の若者に「帰ってこいよ」という強いメッセージを送りたいということだとか、あるいは都会に出て働いたり、いろんなタイミングでいろんな人と会うと思われるが、新成人に市章が入った名刺入れを差し上げることによって、それを「私のふるさとの町よ」と言ってほしいというようなことがあり、そのツールとして今年から名刺入れを記念品にした。

式典実況中継も大変な盛況で、市役所本庁舎の大会議室が満杯で、180人入った。

悲しいことだが、傷害事件が1件起きた。合併以後初めてである。被害者の両親から聞き取らせていただいたところによると、今後、豊岡市の成人式においてこのような事件を起こしてもらいたくないということで告発した、ということである。市としても、今後の教訓として活かさなければならないと思っている。

本日は、報告とともに教育委員の方々から反省点を掲げていただけたらと思っている。すでに事務局並びに動員スタッフからたくさん反省点が出ている。これも併せて来年の成人式で修正したい。特に意見をいただきたいと思っているのは、当日、飲酒並びに喫煙している新成人がたくさんいたということである。まず飲酒している新成人の取り扱いについて、現在事務局サイドでは、案内状に入場できない旨を表記しようということを考えている。また飲酒をしている時は、会場が飲酒禁止であるので、受付でボトル等すべて撤収をするのだが、それが十分でなくて会場内でも飲酒していたという実態があるようである。そういったことから案内状にしっかりと明記して、会場内に入れないとしたことに対応していきたいと思

っているが、これはこれで新たな私どもの対応が必要だと思っている。

会場内の警備では、そういった行動、素行が良くないような者に対して、ブラックホールのような場所が出てきてしまった。今回の事件は3階の出たところにあるトイレで起きたということなので、3階の踊り場部分の警備も十分対応していきたいと思っているし、動員人数も増やしていきたいと思っている。

また、いろんな苦情も入っている。素行がよくない新成人について、電話で親御さんの方から苦情が入ってきた。それは車で送られてきて子どもを降ろして、少し見ておられたと思うが、怖くて入れないというようなことであった。また、たばこの火がポンと衣服に着くという可能性もあり、レンタルで和装されている方もかなりあるので、そういったことへの配慮からも喫煙や飲酒については、厳しく対応していきたいと思っている。

あと気になる点としては、今回は会場内で女性の和装のショールを着けてOKですよということにしたが、やはり、挨拶する立場から見ると非常にこのフワフワするのが目立って目がチカチカしたというようなことが、市長からの反省点でもあった。

また、ある政党が参院選が近いということもあり、ビラを配布したりポスターを掲示したり、会場内に一部入ってきたこともあった。そういった方に対しては、会場外に出ただかくように促した。他にもたくさん反省点がある。教育委員の方々の目で一言聞かせていただきたい。

《教育委員の質問・意見概要及び事務局の回答・説明概要》

(中川委員)

今年のことを踏まえて、十分にこれから検討してもらいたい。

(石高教育長)

飲酒のことを明記する以上は、取締りをしないと意味がない。明記したはいいが大丈夫だということになったら、絶対それは次につながっていく。そういったつながりは、非常に強い。去年はこうだったのに何で今年はこのかかと、逆にやられてしまうから、そのあたりは、明記する以上は、それに対する取組はしっかりとしていく必要があるだろうと思う。もう1つは、新成人が、いろいろ企画しながら、あるいは新成人が特に中心になりながらやってるのだから、全てにわたって新成人をいろんな場面で出してやるようなことを考えたらどうだろうか。

(宮嶋委員)

私は先に会場の中に入ってしまったので、今の説明について、あまり実感としてなかった。

知人の娘さんが、お父さんの仕事の都合で中学校1年生の時に豊岡市内に転入され、2年半で転勤で転出されたのだが、その方がどうしても豊岡市で成人式を迎えたいという本人の強い希望があり、他の市に行ってしまうから出席できないのだろうなということをおっしゃられたのが、快く受け入れられて、また着付けをする暖かい部屋も用意されて、とても喜んでおられた。たまたま聞いた話だったので、報告させていただく。お礼を言っておられた。

(深田委員長)

説明のあった傷害事件というのは、式典の最中か。どの時期か。

(生涯学習課長)

式典の最中である。途中で抜け出て、ホールからいうと2階席、3階にあたるのだが、そこに2、3人で移動したようで、一度2階席に入ったが、飲酒しているからトイレが近くなったのか、

また出て、たまたまそこにトイレで出くわした新成人がいて、いちやもんをつけてということである。

(深田委員長)

そのようなことは徹底して、私たちにはどうにもできないこともあるのだから、警察にお願いするというのは、正当なやり方だと思っている。これからだんだん成人する子どもたちの人数も少なくなっていくので、本来の趣旨とは少し違うかもしれないが、結構保護者の方をはじめとする付添いの方も実況中継等々にも来ておられるみたいなので、1つの例だが、会場の中で1階は成人者の席、2階は付添いの方の席というような形で場所を分けるとか。成人者だけでやるのが本来だと思うが、そのような形で付き添いで来ている方も一緒に入っていて、より目が行き届きやすいような形にするというのも1つかなと思う。先ほど教育長が言われたように、実行委員会の人たちが頑張ってることだから、ものすごく良い流れもできていると思う。ただ、メッセージを流す時期についても、もう一回式が始まる前に、このところから映像を流すとかいうようなことで、ちょっと意識させるようなことをするのもいいのかなと思った。

飲酒、喫煙のことは、社会的な通念としても、たくさんの方が集まる場所では喫煙は駄目だというようなことになっているから、はっきりと場内およびその周辺での喫煙は禁止だと明記したらいいと思うが、飲酒についてもそのように明記するのも必要かなと思う。しかし、北九州なんかでは、テレビのニュースで、明記していても、持ってきて飲んで大騒ぎしてというようなことはなかなか直らないということを放送していた。なかなか喫煙・飲酒については表記の仕方も難しいと思う。

(石高教育長)

明記しなかったら、こちらで動きがとれない。明記したら、それをしっかりとした理由にして、会場から連れ出すこともできると思う。

(教育総務課係長)

本日欠席の友田委員から伝言を聞いている。市歌斉唱の件で、伴奏とのずれが大きかったと思うが、それは伴奏者と独奏者の間に距離があるからということもあったのかもしれないので、例えば指揮者を立てるとか、そのようなことはできないかというご意見であった。

(深田委員長)

反省点等々を活かしていただいて、これからまた企画等々にも努力していただくことになると思います。コミュニティ振興部生涯学習課の報告は、以上で終了させていただきます。

[日程 第5 議事]

(深田委員長)

続きまして、第5、本日の議事に移ります。これより審議案件の審議に入ります。

それでは、議案第42号「寄附物件の申出について」を議題といたします。事務局の説明をお願いします。教育総務課長よろしくをお願いします。

○議案第42号 寄附物件の申出について

《教育総務課長の説明概要》

3件の寄附物件の申出があったので、これを受納しようとするもの。寄附の内容については、

一覧表に記載のとおりである。個人1件、団体2件からの寄附物件の申出を受納することについて、審議をお願いしたい。

(深田委員長)

ありがとうございました。説明は終わりました。では、質疑に入ります。質疑はありませんでしょうか。

(委員)

なし。

(深田委員長)

質疑、打ち切りをさせていただきます。討論に入ります。討論はありませんか。

(委員)

なし。

(深田委員長)

討論、打ち切りをさせていただきます。それでは皆さんにお諮りします。議案第42号につきましては、原案のとおり承認するということに決定して異議はありませんでしょうか。

(委員)

異議なし。

(深田委員長)

異議なしの声がありますので、異議なしと認め、議案第42号については、原案のとおり承認するということに決定をいたしました。

議事につきましては以上です。

[日程 第6 教育委員会事務局の報告]

(深田委員長)

第6、教育委員会事務局の報告に移ります。まず、教育総務課、2件ありますが、説明をお願いします。

1 教育総務課

《教育総務課長の説明概要》

(1) 学校整備審議会からの答申書受領について

平成27年7月23日に豊岡市学校整備審議会に諮問したことについて、平成28年1月13日に答申があったので、その旨を報告する。答申書の内容や答申書受領時の状況等については、すでにお届けしている答申書の写し並びに新聞記事のとおりである。

(2) 豊岡市歴史文化基本構想策定委員会委員の委嘱について

豊岡市歴史文化基本構想策定委員会設置要綱については、11月の定例教育委員会会議で審議いただいた。それに基づき、平成27年12月25日に資料のとおり委員委嘱したので、その旨を報告する。また、同日に第1回目の委員会を開催し、委員会をスタートさせた。平成28年度中の構想策定を目指して、4回の委員会開催を予定している。

(深田委員長)

ありがとうございました。説明は終わりました。質問や意見はありませんか。

質問や意見はないようですので、教育総務課からの報告は以上で終了したいと思います。

では、続きましてこども教育課報告に移りたいと思います。2つありますが、こども教育課長からまず説明をお願いします。

2 こども教育課

《こども教育課長の説明概要》

(1) 旧豊岡市こども支援センターの跡地利用について

以前、旧こども支援センター跡地については、教育財産としての用途廃止をさせていただいたが、市役所内の各課に問い合わせたところ、税務課が使用したいという申し出があり、税務課が所管するということが決定した。

《教育委員の質問・意見概要及び事務局の回答・説明概要》

(中川委員)

具体的に常時税務課で使うといったらどのようなことで使うのか。車庫か何かか。

(こども教育課長)

差押えした物の保管庫、収蔵庫と聞いている。

(深田委員長)

他にありませんか。では、1番目、以上で報告を終わります。

2番目、「豊岡市こども支援センター12月の活動状況報告について」報告をお願いします。こども教育課参事。

《こども教育課参事の説明概要》

(2) 豊岡市こども支援センター12月の活動状況報告について

12月のこども支援センターの活動状況報告書をいつもの様式で示している。こういう数字に表すと増えたということになるが、数字では表しきれないことが確実にこの数字の中で起こっているということをおぼろげに忘れてはいけないと思う。1件とカウントする中でも、そこには本当に長い時間をかけて相談者が悩みを語られる場合もある。それについてカウンセリングをした職員については、そのあと記録をし、今後の展開を考え続けていく。そのようなことがすべてこの数字の中に落とし込まれているわけではないが、それらの1つ1つがこの活動状況報告書の中にあるのだということを見たい。

2月4日には発達支援の先進地である滋賀県湖南市の行政視察ということで、教育委員の

方々とともに支援センターの職員も同行する。業務を行いながら機能を充実させていくということについて、またお力添えをお願いしたい。

(深田委員長)

ありがとうございました。ただいまの報告、何か質問、意見はありますか。

では質問、意見はないようですので、こども教育課の2つ目の報告については、以上で終了させていただきます。

続きましてこども育成課長、報告をお願いします。

3 こども育成課

《こども育成課長の説明概要》

(1) (仮称)小坂・小野認定こども園整備について

幼保のあり方計画のうちの、出石地区の小坂・小野認定こども園の計画の進捗について報告する。幼保のあり方計画で平成27年度に開園するという計画にしていた公立の小坂幼稚園、小野幼稚園、それから私立の小坂保育園の再編・統合の、私立の認定こども園の計画である。平成25年度から小野・小坂両地区、あるいは保護者説明会を行ってきたが、母体となる園が小坂保育園になるため、小野地区から幼稚園がなくなるということについて、地域の意志を確認する必要があり、平成26年度以降、小野地区の地区の方、それから保護者の方と協議を重ねてきた。この8月に小野地区の保護者の方にアンケート調査を実施して、その結果を元に、10月頃から小野地区の区長の方々、あるいは小野幼小PTAの役員の方々と協議を重ねてきた。その結果、12月21日に小野地区の区長、小野幼小のPTA会長との最終協議をし、市の方針のとおり進めることについて、積極的にといったことではなかったが小野地区の方の合意は取れた。1月21日に13地区ある小坂地区の各区長に集まっていたが、「小野地区の了承が得られたので、小坂・小野認定こども園の計画について小坂地区にも説明をし、市としては今後、計画に沿って、法人、地区、保護者と協議の上で計画の推進を図っていきたい」という説明をした。

今後の予定は、法人と今後の進め方について協議を行い、なんとか年度内3月までに小野・小坂両地区に、住民の方、保護者の方の説明会を再度させていただきたいと思っている。それから平成28年度は、法人とどういった施設を整備するのか、統合・再編についての環境整備をどうしていくのかそういったあたりの協議を進めながら、園舎の設計も進めていきたいと思っている。園舎の整備工事については、これまで県の補助金、安心こども基金を活用して施設の整備を行ってきたが、平成27年度以降、国の保育所等整備交付金で施設整備を対応している。どうしても2年程度の補助事業としての期間が必要になってくるので、平成29年度に園舎の整備工事を終えて、最短で平成30年4月の小坂・小野認定こども園の開園という流れになろうかと考えている。

(深田委員長)

ありがとうございました。説明をしていただきましたが、何かこの報告に対する意見、質問はありますか。

では質問、意見等ありませんので、こども育成課の報告は以上で終了させていただきます。

続きまして第7、教育委員会の活動予定について事務局より説明をお願いいたします。

[日程 第7 教育委員会活動予定]

《教育総務課係長の説明概要》

1 次回教育委員会会議の日程について

次回の定例教育委員会会議の日程は、第11回定例会については、2月18日・木曜日の午後1時30分から本庁舎7階の第3委員会室で開催する。

次に臨時会だが、2月22日に但東地域のハッピースクールプロジェクト報告会ということで、教育懇談会を但東庁舎で19時から予定している。その前に教職員の人事の関係等で臨時会を持たせていただきたい。

第12回・3月定例会の日程を決めていただきたい。第1希望として3月22日・火曜日の午前9時から本庁舎3階庁議室でお願いしたいが、予定はいかがか。

＜ 各委員の都合を確認し、3月定例会は3月22日・火曜日の午前9時から本庁舎3階庁議室で開催することに決定した。＞

2 今後の活動・行事予定

今後の活動予定は資料に記載のとおりである。市議会の日程、中学校、幼稚園・認定こども園、小学校の卒業式・卒園式の日程も3月には入ってくるのでよろしくお願ひしたい。

市議会の出席者を2月定例会で確認させていただく。

(深田委員長)

では今後の予定等についても説明していただきましたので、よくご覧いただきまして、ご予定お願ひします。

教育委員会活動の予定について説明は終わりましたが、その他、今後の日程等のことも含めて何かありましたらお願ひしたいと思ひます。

では、声を聞きませんので、以上をもちまして、定例の教育委員会会議を閉会させていただきます。

閉会 午後2時25分
